

「日本の偉人～100人の物語～」寄稿の募集

～日本の偉人の誇れるエピソードを学び、日本人としての誇りと、国を愛する心を育む～

主催者：株式会社テンポスホールディングス

協賛：公益財団法人 日本国防協会



〔募集要項〕

① 募集の目的：

日本という国が多く先人の志と努力によって形づくられてきたことをその偉人達のエピソードで読者に語り伝える。そして、偉人は単なる結果ではなく、偉人の志・判断・努力の積み重ねによって成立したものであることを丁寧に描くことで、読者が「自分もこの国の担い手になれる」という意識を自然に抱けるようになることを目指します。

先人への敬意と日本への誇りを自然に育み、自らもこの国の一員として社会と関わっていこうとする心を養う一助となることが今回の寄稿募集の目的です。

<想定読者>

小学校高学年～中学生を主対象とし、ヤングアダルト層も視野に入れます。小学校高学年から無理なく読み進められる表現を基本としつつ、高校生にとっても読み応えのある情報量と内容の水準確保を目指しております。

② ご執筆依頼方針について：

＜執筆の対象となる偉人について＞

歴史上の人物から近現代まで、学問・医療・教育・文化・芸術・技術・産業・社会活動、そして日本の安全保障など多様な分野での偉人を執筆者が自らご選定頂けます。

＊ご参考＜偉人＞：別紙1

あなたの文章が、未来に残る。

100人の偉人

執筆者募集！

時代をつくった偉人たちの
生き方・考え方・功績を
あなたの言葉で伝えませんか？

ふくおか ゆきち
福沢 諭吉
近代日本の礎を築いた
思想家・教育者

しんざわ えいいち
渡辺 栄一
近代日本経済の父・
500以上の企業創設に関わった実業家

書くことで 歴史に残る
あなたの文章が 1冊の本に
多くの人に 届く・役立つ

難しい専門知識は不要！
大切なのは、
その人を想う気持ちと、
あなたの言葉。

テーマ	文字数の目安
日本の偉人 (ジャンル不問)	1人あたり 15,000字程度

※執筆文字数は目安です

一緒に、
未来に残る一冊を
つくりましょう！
ご応募
お待ちしております！

全国の小学校・中学校へ無料で届けるエピソード集企画

あなたの文章が、未来に残る。

100人の偉人

執筆者募集！

時代をつくった偉人たちの
生き方・考え方・功績を
あなたの言葉で伝えませんか？

とくともちん ちんじゅ
徳積 陳重
法典草案の中心として民法(現行民法)の
策定に関わり、近代日本の法学の礎を築いた。

たなか こうたろう
田中 耕太郎
日本の現況を鋭い国際社会でも活躍した法学者

書くことで 歴史に残る
あなたの文章が 1冊の本に
多くの人に 届く・役立つ

難しい専門知識は不要！
大切なのは、
その人を想う気持ちと、
あなたの言葉。

テーマ	文字数の目安
日本の偉人 (ジャンル不問)	1人あたり 15,000字程度

※執筆文字数は目安です

一緒に、
未来に残る一冊を
つくりましょう！
ご応募
お待ちしております！

全国の小学校・中学校へ無料で届けるエピソード集企画

＜希望する執筆の内容について＞

- ・偉人の誇れるエピソードを中心に据え、そのエピソードがなぜ誇りに値するのか伝わるように表現して頂く。
- ・偉人の業績の結果のみを並べるのではなく、人物がどのような志を抱き、どのような困難を乗り越え、どのような選択を重ねたかという過程を描く。過程を描くことで、誇れるエピソードに奥行きと説得力が生まれ、読者が単なる偉業の知識ではなく、そこに込められた精神を受け取ることができるように表現して頂く。
- ・偉人を一面的な英雄として理想化するのではなく、偉人が抱いた迷いや試行錯誤にも適切に触れることで、読者が「自分と共感する存在」として受け止められるように表現して頂く（同じ人間として共感できる描写が、かえって人物の志の尊さを際立たせる為）。
- ・偉人が生きた時代の社会的背景にも触れ、日本という国の歩みの中に偉人を位置づける。個人の業績を孤立した出来事としてではなく、日本の歴史の連続性の中で捉えられる記述を心がけるように表現して頂く。ただし、偉人の生涯を網羅する必要はなく、誇れるエピソードが最もよく表れている時期に重点を置いてよいものとします。
- ・専門用語は平易に言い換え、小学校高学年でも読み進められる表現を基本とする。ただし内容の水準は下げず、適切な補足で理解を助けるように表現して頂く。

③ 募集する執筆内容の分量の目安と送付先・締切期限について：

○「日本の偉人」お一人あたり、15,000～20,000文字程度。
また、お一人の執筆者で、複数の「日本の偉人」に関するご寄稿も受け付けております。

○送付先：

公益財団法人 日本国防協会に執筆文書を寄稿者のお名前・住所・連絡先・メールアドレスを添えて、マイクロソフト Word File形式にてお送りいただきますようお願い申し上げます。

[お申込先・お問い合わせ先]

〒160 0006

東京都新宿区舟町 11 小川ビル 202

公益財団法人 日本国防協会 事務局

電話: 03 5315 0232

E-mail: infos@kokubou.or.jp

○第一次募集期限：2026年10月末まで

④ 寄稿に関する謝金について：

当公財にお送りいただいた「日本の偉人」に関する寄稿文書の中で、主催社（株式会社テンポスホールディングス）の選定委員会にて選ばれた寄稿につきましては、主催者より謝金1万円が執筆者に支払われます。また、当公財の機関誌「日本の国防」に掲載された当該寄稿文書に関しましては、公益財団法人 日本国防協会より謝金1万円を執筆者にお支払いいたします。

いずれの選定にも選ばれなかった寄稿につきましては、大変に申し訳ございませんが謝金のお支払いはございませんので、何卒、その点ご了承の程、お願い申し上げます。

日本人としての誇りと、国を愛する心を育む試みとして、ご賛同いただき、多くのご寄稿を心よりお待ちしております。

以上

別紙 1

平安時代

最澄：日本天台宗の開祖である僧侶。

紀貫之：『古今和歌集』の選者や『土佐日記』の著者として知られる歌人。

紫式部：世界最古の長編小説とされる『源氏物語』を執筆した作家。

清少納言：鋭い観察眼で宮廷生活を描いた随筆『枕草子』の作者。

鎌倉時代・南北朝時代

北条政子：源頼朝の死後、「尼将軍」として幕府の実権を握り支えた女性。

北条義時：鎌倉幕府第2代執権として、幕府の支配体制を確立させた。

北条時宗：モンゴル帝国の襲来（元寇）という国難を退けた第8代執権。

楠木正成：後醍醐天皇に尽くし、優れた軍略で足利尊氏らと戦った武将。

戦国・安土桃山時代

武田信玄：甲斐の虎と恐れられ、上杉謙信と川中島の合戦を繰り広げた名将。

織田信長：既存の秩序を破壊し、天下統一への道筋をつけた戦国の革命児。

豊臣秀吉：百姓から天下人にまで上り詰め、日本を統一した「戦国一の出世頭」。

徳川家康：江戸幕府を開き、260年余り続く泰平の世の礎を築いた。

千利休：織田信長や豊臣秀吉に仕え、茶道（わび茶）を完成させた茶聖。

淀君：豊臣秀吉の側室であり、秀頼の母として豊臣家の最期を見届けた。

江戸時代

徳川家光：参勤交代の制度化などを行い、幕藩体制を盤石にした第3代将軍。

徳川吉宗：享保の改革を断行し、幕府の財政を立て直した「米將軍」。

宮本武蔵：二刀流を用いる「二天一流」を編み出し、生涯無敗とされる伝説の剣豪。

平賀源内：エレキテルの紹介や土用の丑の日の提唱など、多方面で活躍した奇才。

杉田玄白：オランダの医学書を翻訳して『解体新書』を出版し、蘭学の発展に貢献した。

伊能忠敬：50歳を過ぎてから測量を学び、日本全国を歩いて正確な日本地図を作製した。

二宮尊徳：独自の思想「報徳仕法」により、多くの農村を復興させた。

吉田松陰：松下村塾で明治維新の原動力となる多くの逸材を育てた思想家。

幕末・明治時代

坂本龍馬：薩長同盟の仲介や大政奉還の構想など、日本の近代化に奔走した。

勝海舟：江戸無血開城を実現させ、江戸の街を戦火から救った幕臣。

西郷隆盛：明治維新の最大の功労者の一人で、誠実な人柄で多くの人に慕われた。

高杉晋作：奇兵隊を組織して長州藩を倒幕へと動かした、早世の革命家。

木戸孝允：薩長同盟や版籍奉還などの重要施策を推進した、維新の三傑の一人。

大久保利通：内務卿として中央集権的な近代国家の基盤を築き上げた。

明治天皇：近代国家へと生まれ変わった日本を象徴する天皇。

岩倉具視：岩倉使節団の全権大使として欧米を視察し、不平等条約の改正に努めた。

伊藤博文：日本の初代内閣総理大臣を務め、大日本帝国憲法の制定を主導した。

板垣退助：自由民権運動の指導者として、国会の開設を訴えた政治家。

大隈重信：早稲田大学を創設し、内閣総理大臣も務めた教育者・政治家。

山県有朋：日本陸軍の父と呼ばれ、官僚機構の確立にも携わった権力者。

桂太郎：日露戦争時の首相であり、通算在職日数が歴代屈指の政治家。

小村寿太郎：日露戦争後の講和条約（ポーツマス条約）の全権大使を務めた外交官。	
陸奥宗光：不平等条約のうち、領事裁判権の撤廃に成功した名外交官。	
東郷平八郎：日露戦争の日本海海戦でロシアのバルチック艦隊を撃破した軍人。	
乃木希典：日露戦争で旅順要塞を攻略し、明治天皇への忠義を貫いた陸軍大将。	
秋山真之：日本海海戦において、独自の戦術で連合艦隊を勝利に導いた参謀。	
高橋是清：数々の経済危機を乗り越え、「ダルマ宰相」の愛称で親しまれた財政家。	
原敬：初の本格的な政党内閣を組織し、「平民宰相」と呼ばれた。	
加藤友三郎：ワシントン軍縮会議で軍縮に合意し、国際平和を模索した政治家。	
岩崎弥太郎：三菱財閥の創始者で、日本の海運・産業の発展を牽引した実業家。	
渋沢栄一：約500もの企業の設立に関わり、「日本資本主義の父」と称される。	
福沢諭吉：『学問のすゝめ』を著し、啓蒙思想の普及と慶應義塾の創設を行った。	
新渡戸稲造：国際連盟事務局次長を務め、著書『武士道』で日本文化を世界に広めた。	
内村鑑三：キリスト教に基づき独自の「無教会主義」を唱えた思想家。	
岡倉天心：日本の伝統美術の価値を再発見し、保護・育成に尽力した。	
北里柴三郎：ペスト菌の発見や血清療法の開発など、日本の医学を近代化した。	
野口英世：黄熱病や梅毒の研究など、医学研究にその生涯を捧げた細菌学者。	
津田梅子：女子英学塾（現・津田塾大学）を創設し、女子教育の向上に捧げた。	
瓜生岩子：児童福祉の母として、孤児や貧困者の救済活動に一生を捧げた。	
後藤新平：近代都市づくりの父と呼ばれ、東京の震災復興などに手腕を発揮した。	
樋口一葉：『たけくらべ』などの名作を執筆した、明治期を代表する女性作家。	
夏目漱石：『坊っちゃん』『我輩は猫である』など、独自の文体で知られる文豪。	
森鴎外：陸軍軍医総監を務める傍ら、『舞姫』などの名作を遺した文豪。	
正岡子規：俳句や短歌を近代文学として再生させた文学者。	
与謝野晶子：情熱的な歌集『みだれ髪』や反戦詩『君死にたまふことなかれ』の作者。	
滝廉太郎：『荒城の月』や『花』を作曲し、日本の西洋音楽の先駆けとなった。	
大正・昭和時代	
昭和天皇：激動の昭和時代に、日本の平和と国民の幸福を願い続けた天皇。	
芥川龍之介：『羅生門』や『河童』など、知性溢れる短編を多く遺した作家。	
宮沢賢治：『銀河鉄道の夜』など、独特の自然観を持つ作品を描いた詩人・童話作家。	
太宰治：『人間失格』『走れメロス』など、人間の苦悩を描いた無頼派作家。	
林芙美子：自伝的長編『放浪記』で一躍人気作家となった小説家。	
湯川秀樹：中間子理論により、日本人として初めてノーベル賞を受賞した物理学者。	
松下幸之助：パナソニックの創業者で、「経営の神様」と称えられる実業家。	
本田宗一郎：ホンダの創業者で、情熱を持ってエンジン技術を追求めた実業家。	
西崎潤一：ミスター半導体と称され、日本の半導体産業を支えた技術者。	
黒澤明：『世界のクロサワ』として知られ、映画史に残る傑作を数多く監督した。	